

## 4.23 リュウグウノツカイ登場！

4月23日、海とくらしの史料館で「リュウグウノツカイ」のはく製完成式典が行われました。

深海魚の「リュウグウノツカイ」は一昨年境水道の海面を漂っているところを釣り人が発見し、はく製となって帰ってきました。全長は約4.2mで国内最大級です。竜宮伝説のモデルとも言われ、生態は謎に包まれています。

全国一のマンボウ「チョボリン」と並んで展示され、今後、史料館の目玉として人気を集めそうです。



## 4.24 家庭でもベニガニ料理を

4月24日、ベニズワイガニ（ベニガニ）の普及に取り組む「境港ベニガニ有志の会」は、ベニガニ料理教室を保健相談センターで開催しました。

市内外の20人が参加し、揚げガニ、カニめし、カニキムチなど7種類の料理に挑戦しました。

水温保存された鮮度の良いカニを一人2枚使い、カニのさばき方に苦勞しながらも、味・量とも文句なしの料理が出来あがりました。

家庭で多彩なベニガニ料理が並ぶ日も近いかも。



## 5.4 妖怪パワー今年も健在！

今年もゴールデンウィーク期間中は、水木しげるロードが大変な賑わいとなり、5月14日時点では、今年の累計入込客数が102万人を超え、例年より1カ月早く100万人を突破する超ハイペースになっています。

また、5月4日には一日では過去最高の73,064人がロードを訪れました。

今や観光地として、水木しげるロードの知名度が全国的に定着しましたが、今年も妖怪パワーで境港がさらに活気付くことが期待されます。



## 5.20 伯州綿を次世代につなげよう

5月20日、地域子育て支援センター「ひまわり」の園庭で伯州綿の種の植え付けを行いました。

センター利用者の親子など約30人が参加し、種を1個1個ていねいに植えていきました。

市では、伯州綿の復活栽培に取り組んでおり、収穫した綿で作る「赤ちゃんタオル」を新生児にプレゼントする予定です。

伯州綿の栽培を親子で楽しみ、次の世代にも受け継がれていくことでしょう。秋の収穫が楽しみです！

